



京都

労福協

No.53
2016.11

一人は万人のために、万人は一人のために

TOPIC
1

2016年度京都労福協活動者会議 開催

10月20日(木) 13時30分から京都ブライトンホテルに於いて、加盟会員産別・各事業団体・各地区労福協より108名の参加を頂き、2016年度京都労福協活動者会議を開催致しました。

会議では二つの講演を企画し、一つ目の講演では、舞鶴市長：多々見良三氏より「選択と集中、分担と連携をコンセプトとした自治体要請」～個々の自治体の特徴を活かした広域水平連携への挑戦～と題してお話しいただきました。

多々見市長からは、現在、京都縦貫道が開通し京丹後市まで伸びていることや、舞鶴港の埠頭が整備され大型客船が多く寄港するなど、陸路・海路のインフラ整備とともに、京都府北部

が大きく変化しようとしている中で、北部5市2町の繋がりの歴史や広域連携の取り組み・地域連携都市圏の強みなどについてお話し頂き、また、今後の課題や京都府南部との連携について講演頂きました。

北部の現状や取り組みについては知る機会も少なく、今後の私たちの活動に活かしていかなければならない貴重な講演でした。



二つ目の講演では、福島県労福協の今泉会長をお招きし、震災発生から5年7ヶ月が経過した福島県の実態について、発生当時から現在の状況・今後の課題などの内容で講演をいただきました。

発生時の避難の大混乱・避難場所の



確保・政治不信、現状の問題として帰還問題・人口減少の加速・犯罪多発、今後の課題として復興財政と産業創出・賠償と補償の打ち切り等々、なかなか報道されることがないお話をお聞きし、復興への道のりはまだまだ長いと感じました。最後に、今泉会長から「福島がどのように復興していくのか見届けて頂きたい」という言葉が大変印象的で、京都労福協も現在実施している福島県への視察・福祉活動をさらに継続していかなければならぬと思う講演でした。

その後の懇親会では、舞鶴市の多々見市長や今泉会長に色々な質問をしたり、意見交換をする方もいて、懇親も深まり意味ある活動者会議だったと思います。

優勝 自治労京都市職
準優勝 パナソニックSC
三位 菊水タブレツツ
ジエス・ユア野球部



TOPIC
2

第67回 勤労者文化祭野球大会 開催

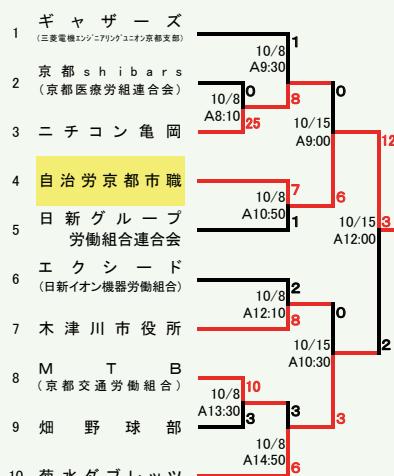
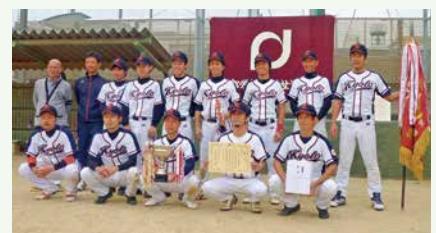
開催初日は雨によるグランド不良のため延期し、10月8日・15日・22日の毎週土曜日の三日間で、京都市長杯をめざす19チーム参加による、勤

労者文化祭野球大会を殿田球場において開催致しました。

昨年、試合前日に3チームが棄権し、相手チームに大変迷惑がかかる事態が

発生したことから、今年度からは「3日間を通して参加出来るチーム」という条件のもと募集致しました。昨年より5チームが減少した19チームから応募があり、9月6日、ラボール京都の会議室に於いて主会議と抽選を行い熱戦の日を迎えることとなりました。

開催日はいずれも晴天に恵まれ、試合自体も大変拮抗した試合が多く、負傷者が出ることもなく、無事に第67回野球大会を終了致しました。



3 2016年度 京都労福協福祉活動 実施

京都労福協は、事業団体や労働団体と連携し、労福協の社会的役割を果たす活動として、昨年、福島県への視察とボランティア活動を実施致しました。

その後、被災地の現状を視た参加者から「福島県への支援を続けるべき」という多くの声が寄せられ、5月の定期総会において支援活動の継続を確認し、8月19日から3日間、労働団体・事業団体・地区労福協から28名の方々に参加いただき、2016年度の福祉活動を実施致しました。

一日目は、いわき市から北上し、富岡町、大熊町、浪江町などの浜通りから飯館村を通って福島市に入るコースで視察を行いました。今回は、自らも被災者で数多くの体験をしてこられ、現在はいわき市に居住し、語り部として活動しておられます田中さんにバスに同乗して頂き、当時の避難生活の状況から今日に至るまでの被災地の復興状況や、被災者の現状についてお話を伺いました。

転々と移動しながら避難生活を送るなかで、「お風呂に入り、頭が洗え、布団で寝ること」震災さえなければごく普通のことができる幸せ、「千葉県へ避難した時は、福島から避難して来たと言えば、病気の子供を診察して貰えなかった病院での悔しさ」など、なかなか聞く事ができない実体験の話を聞きながら、視察できたことは大変有意義でした。

又、田中さんからの「原発事故災害はまだ終わっていないことを多くの人に伝えてください」という言葉や、福島県労福協の林さんの「人がいなくなった福島の復興が如何に困難なものか、しかしながら、一歩一歩でも着実に進んでいるという現実をしっかりと見据え、福島で何が起きたのか、その事実を後生に伝えていくことが私たちの使命です。」という言葉が深く心に刻まれ、私たちの活動がその一助になればと思います。

二日目はボランティア活動です。昨年は、津波で流され更地になった宅地の草刈りや竹切りの作業でしたが、今年は「JAふくしま」からの要請もあり、桃や梨の選別から出荷に関わる作業でした。まだまだ、福島県から避難して



京都の生協の連合体が京都府生協連です
食の安全くらしの安心の
実現をめざして

京都府生活協同組合連合会

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上る藤絵屋町258番地
コーポ御所南ビル4階
TEL.075-251-1551

事務機器・
車リース・
旅行のことなら

ル ユニオントラベル京都
エル・ユニオン京都

京都府知事登録 第3-554号
全国旅行業協会 (ANTA会員)

事務所所在地はラボール京都6階
(京都労福協内)

TEL 075-801-1501
FAX 075-802-4568



いる方も多いこと、除線作業に従事する方も非常に多いため、慢性的に人手不足が続いているようです。

「西部共同選果場」と「野田共同選果場」の2班に分かれ、9時からアルバイト、パートの方々と一緒に朝礼に参加し、それぞれ作業に入りました。各地から集められた桃はコンベアで運ばれ、光センサーによって大きさ・糖度がチェックされ、各等級に別れて流れています。

一班は早速ラインに入り、アルバイトの方々から指導していただく間に手際よく箱詰め作業ができるようになりました。作業にも慣れた午後には、地元の方々とも色々な話が出来て地域の現状も知ることが出来たようですが、立ったまま中腰での作業は相当つらかったようです。

二班は初めに、収穫作業と運搬に使うコンテナ（箱）を雑巾で拭いて綺麗にする作業でした。昼前くらいから桃の選別が始まり、私たちの仕事は、箱に15個入りと13個入りで流れてくる桃に白いキャップを被せて箱に綺麗に並べる作業です。初めは、なかなか箱に上手く並ばず戸惑いましたが、徐々に慣れてスムーズに進めることができました。

両班ともに、地元のベテランの方から教えて頂きながらの作業で、どれほどお役に立てたのか分かりませんが、作業が終わり引き上げるときに、農協の職員の方は勿論、パートの方々までもが「ありがとうございます。助かりました。」と声を掛けてくださいました。一日だけのお手伝いで、逆に足手まといになったのではと思いながら、本当に嬉しい気持ちになりました。

2年続けて福島県を訪問し、視察とボランティア活動を実施しましたが、改めてこの活動は継続しなければならないと実感致しました。

私たちは、被災地から遠いところで暮らし、もう殆ど報道されることが無くなった現地の状況を復興が進んでいるものと勝手に判断しています。

しかし、現地に行くと、まだそこには大変な状況があるにも関わらず、社会の被災地・被災者に対する意識は確実に低下しています。

東北のこの地で何が起きたのか、私たちは忘れることなく「京都労福協として何をすべきか」ということを考えながら、2年間の視察を今後の活動に必ず活かしていくかなければならないと考えています。

参加頂いた皆様と、ご協力頂いた構成組織の方々、そして企画から受入まで大変お世話になりました、福島県労福協の皆様に心から感謝申し上げます。

4 2016年度京都市内社会貢献活動 実施

京都労福協は、2014年度に日本三景・天の橋立での松林での清掃活動に続き、2015年度は南丹市にある「スチールの森京都」において森林の整備活動・植林地の除伐を実施致しました。

3年目を迎える今年度は、8月27日(土)午前10時から京都山城運動公園(太陽ヶ丘)「冒險の森」に於いて、104名もの方々に参加いただき、森林の除伐作業を実施致しました。

地域ボランティア団体・フォレスタ宇治の協力を得て、樹木の種類や、森林を育てるにあたって必要な作業についての説明を受けながら、太い木を切り落とし、のこぎりや鎌を使って枝を細かく切る作業では、子どもたちも熱心に

汗を流し作業を行っていました。ケガ人も無く無事作業を終えた後、参加者全員で昼食のバーベキューを楽しみました。モクモクとした煙の中でしたが、楽しく交流をはかりながら過ごして頂けたと思います。その後、子どもたちは木工体験でドングリなどを使った置物を作成し、夏休みの宿題にもできると喜んでもらえ、成功裡に終了できました。



5 児童養護施設

「舞鶴学園」招待について

舞鶴労福協においては、京都労福協の理念である「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる!」のもと、一昨年から福祉活動として、福島県でのボランティア活動や社会貢献として、天の橋立の松林の清掃活動・日吉町スチールの森京都での育樹活動等にも協力してきました。

今年度は舞鶴労福協として、社会福祉の観点から、地域貢献の一つとして、レストラン二条の近くにある児童養護施設「舞鶴学園」の子ども達とスタッフ52名を夏休み中にレストランに招待しました。(昼食)

その理由として、

①「舞鶴学園」には、家庭のさまざまな事情により、家族と一緒に暮らせない幼児から高校生の子ども達50名が生活しています。

一般家庭に近い雰囲気を大切にしており6グループ、各5名～9名の子ども達が各2名のスタッフと施設で生活していますが、外食の機会がほとんどなく、子ども達の大好きな体験の場にしてもらえるのではないか。

②小さい頃から過酷な状況に置かれた子ども達にとって、美味しい食事と心癒される時間をレストラン二条で過ごしてもらいたい。と考えました。

実施内容は、4グループに分けて、8月16日(7人)、23日(9人)、24日(15人)、26日(21人)合計52人を招待しました。それが自分が好きなメニューを選んで食べ、楽しいひとときを過ごしてもらえたのではないかと思います。

今後も、地域密着型の社会貢献活動を広げていきたいと考えています。



6 口丹地区労福協 『第23回ふれ愛フェスタ』 報告

口丹地区労働者福祉協議会は、2016年11月3日(木)に、『第23回ふれ愛フェスタ』を開催しました。今回は兵庫県にある『神戸フルーツ・フラワーパーク』と神戸三田プレミアムアウトレット(希望者)へ行ってまいりました。現地に到着後、参加者全員で集合写真を撮影、バーベキューでお腹を満たしつつ、毎年恒例となった大抽選会で楽しんで頂きました。食事後は自由行動となりお子様連れのご家族はパーク内を自由に散策、希望者のみ近くにあるアウトレットへの移動と、各々で楽しい一時を過ごして頂きました。また、風は冷たかったものの気持ちの良い秋晴れの1日となりました。



『神戸フルーツ・フラワーパーク』での集合写真

京都労福協設立60周年 記念式典・講演会を開催

日時：2017年2月23日(木)
記念講演会 15:30～
記念式典・祝賀会 17:00～
場所：会場 ホテルオークラ京都



京都の生協の連合体が京都府生協連です
食の安全くらしの安心の
実現をめざして

京都府生活協同組合連合会

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上る藤絵屋町258番地
コーポ御所南ビル4階
TEL.075-251-1551

事務機器・
車リース・
旅行のことなら

ル ユニオントラベル京都
エル・ユニオン京都

京都府知事登録 第3-554号
全国旅行業協会 (ANTA会員)

事務所所在地はラボール京都6階
(京都労福協内)

TEL 075-801-1501
FAX 075-802-4568

きょうとライフサポートセンター
暮らしなんでも相談

相談無料

0120-967-976

京都府外の方、
携帯電話・IP電話の方は
TEL 075-842-5777
FAX 075-842-5778

府内どこから
でも無料!

相談時間 午前10時～12時
午後1時～4時 (平日のみ)

公益財団法人
京都労働者総合会館 ラボール京都

大ホールと中小会議室 全15室 (14名様～342名)
趣味の会や会議・研修などお気軽にご利用ください。

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2 (四条御前)
http://laborkyoto.jp

TEL 075-801-5311

☆毎月第1・第3日曜日と12月30日～翌年1月4日は休館日となります。

働くうえで役に立つ知識・技能と教養を身につける総合学習施設
パソコン教室1月受講生：12月5日(月)募集開始！
シニアのための英会話特別講座開催中

ラボール学園
(公益社団法人 京都勤労者学園)

ラボール京都3F 電話 075-801-5925

ラボール学園 検索

意思あるお金の流れをつくろう！

社会貢献預金

すまいる

商品概要

預金種類	スーパー定期・大口定期	
お預入期間	1年(自動継続)	元利自動継続・元金自動継続のいずれか
お預入金額	1万円以上(個人・団体)	
預本金利	定期預金の店頭表示金利より、一定金利を引き下げさせていただきます。	
寄付金額	各寄付コースにおける年度末のお預入残高の「0.1%」とし、「くろうきん」から寄付を行います。	

※店頭に商品説明書をご用意しております。

「社会貢献預金・すまいる」は、ご預金を通して、エコ推進・子どもたちの未来応援・災害復興支援・国際協力を行っている各分野の団体を応援するものです。

寄付コース

《寄付先団体と概要》



エコ推進コース

NPO法人 菜の花プロジェクトネットワーク
(循環型社会の推進)
公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会
(大阪府の貴重な自然と生物の保護活動)
公益財団法人 国際湖沼環境委員会
(湖沼環境の健全な管理活動)



子どもたちの未来応援コース

NPO法人 日本クリニクラウン協会
(入院中の子どもたちの応援)
NPO法人 チャイルド・ケモ・ハウス
(小児がん専門治療施設の応援)
社会福祉法人 京都ライトハウス
(視覚障がい者の支援)



災害復興支援コース

あしなが育英会
(災害・病気等の遭難支援)
わかやまNPOセンター＆奈良NPOセンター
(台風災害・熊野古道の復興支援)
認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク
(災害救援で学んだ教訓を発信する活動)



国際協力コース

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス
(紛争国の地雷撤去と紛争被害者支援)
公益社団法人 アジア協会アジア友の会
(井戸を贈り「命の水」を贈る事業)

近畿労働金庫 京都地区統括本部 ※お問い合わせ:月～金(祝日は除く) 9時～17時

京都市中京区壬生仙念町30-2

TEL: 075-801-7317 FAX: 075-841-5433 <http://www.rokin.or.jp>

2716Z023

ZENROSAI NEWS



全労済の
「生活保障設計運動」を、
あなたとご家族の
最適な保障づくりに
お役立てください。

全労済京都府本部 075-812-7800
(全京都労働者共済生活協同組合) 営業9:00～17:00 土日祝・年末年始休業

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い
いただいて組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会